

日本コミュニティ心理学会第25回大会のご案内 (1号通信)

2022年3月27日

日本コミュニティ心理学会会員各位

ウィズコロナの生活も3年目を迎えました。この3年、人との関わり方や生活様式が大きく変化しました。そのなかで医療機関、保健所の方々はもとより、教育関係、福祉、産業、司法の関係者は、新しい状況に対応する必要に迫られ、これまでにない働き方や、多職種との協働を模索されたのではないかと推察されます。ウィズコロナ、ポストコロナに向けて、私たちはどのように他者とつながっていくことができるのか、その体制をどのように整えるのか、今、求められているのだと思います。

このような変化の時代にあって、コミュニティ心理学の基本的概念である「協働」をいかに学ぶのかは重要なテーマとなりつつあります。コロナの感染状況により目まぐるしく変化する養成教育だけでなく、各現場で複雑化する個々人の課題に柔軟に対応するには、それぞれの領域で「協働を学ぶ」ことを考える必要があるのではないのでしょうか。ともすれば、大変な状況の中で置き去りにされがちな人々を支援するために、多様な領域での専門家がともに、どのように協働するのかを、実践やデータから検討し、学ぶことが、今こそ求められているといえるでしょう。

今年度の大会は、「コミュニティのなかで多職種協働をいかに学ぶのか」ということで、コミュニティ心理学として、多職種連携教育を問いたいと考えます。今年度は初の中国地方での大会ですが、大会の形式は昨年度の大阪教育大学での大会に引き続きオンライン開催とします。オンラインだからこそ、コミュニティ心理学会らしい、真摯な議論のなかにも人同士の温かさを感じられる大会にしていければと思います。ぜひ、会員の皆様の積極的な参加をいただき、議論を深めていきたいと願っております。

25回大会の実行委員会は、地域とオンラインの良さを活かすために、交流のある瀬戸内圏内と日本全国の会員の皆様に実行委員となっただき大会を運営していきたいと思っております。

暫定的なプログラムは以下のとおりです。ぜひ、会員の先生方のご意見・ご提言をいただければ幸いです。

日本コミュニティ心理学会第25回大会 大会長 荊木 まき子

Ⅰ. 大会日程・スケジュール等

1. 会期 2022年9月24日(土)・25日(日)の2日間
2. 会場 オンライン開催
3. テーマ コミュニティのなかで多職種協働をいかに学ぶのか
4. 日程

	9月24日(土)ー大会1日目ー	9月25日(日)ー大会2日目ー
午前	大会基調講演 研究発表・会員自主企画	研究発表・会員自主企画
昼		
午後	総会 研究発表・会員自主企画	大会指定シンポジウム 研究発表・会員自主企画
夕刻	院生・会員の集い	

※ 会員による研究発表、および自主シンポジウム・ワークショップ等のスケジュールについては、発表数等によりプログラムを決定いたします。

※ 9月16日(金)18:00から役員会(理事・監事会)を予定しております。

II. 大会案内

1. 大会企画:

【第1日目 9月24日(土)】

■大会基調講演: 09:00~10:40

- ・テーマ 専門職連携の実践家を育成する地域基盤型教育—埼玉県立大学と地域との協働過程から
- ・講師 朝日雅也先生(埼玉県立大学)

※本講演は、講演終了後、オンデマンド動画として、掲載する予定です。

■院生・若手の集い、会員の集い: 18:00~20:00

従来、対面実施で行っていた懇親会を兼ねて企画しています。みなさん、ふるってご参加ください。

【第2日目 9月25日(日)】

■大会指定シンポジウム : 13:30~15:30

- ・テーマ コミュニティのなかで多職種協働をいかに学ぶのか
- ・シンポジスト
 - 薬学からみた協働するために必要な能力と養成 岸本成史先生(昭和薬科大学)
 - 学校で協働するために必要な能力と養成 相楽直子先生(宮城大学)
 - 心理職が多職種連携するための能力の整理と養成 竹森元彦先生(香川大学)
 - 指定討論 高橋美保先生(東京大学)
- ・司会・問題提起 荊木まき子(就実短期大学)

2. 会員による発表:

研究発表に加え、会員自主企画による自主シンポジウム、自主ワークショップ、ラウンドテーブルを設けます。また、研究発表において発表賞を設け、優れた発表に対して表彰を行います。

皆様からの多くの発表申込をお待ちしております。

(1) 研究発表

発表時間は質疑応答を含め1件につき20分程度を予定しています。

(2) 会員自主企画

共通の研究テーマや実践活動、コミュニティ心理学に関連したテーマについて、研究発表の形ではなく、議論を深める場となります。2時間を目安としますが、発表数等により変更する可能性があります。テーマの設定、②司会・発表者・指定討論者の人選、③オンラインでの運営は、代表者が責任をもって調整、設定を行なってください。(詳細な運営方法等は、運営委員会にご相談ください。)

・自主シンポジウム

数人の報告者が実践報告や研究発表を行います。発表や指定討論、ディスカッション等の形式や時間配分は自由です。

・自主ワークショップ

新しい知見や実験・実践的な取り組みの紹介、参加者体験型など、自由な形式で行うセッションです。

・ラウンドテーブル

グループで討論を行います。形式は自由とします。大会参加者も交えた活発な話し合いを期待します。

【発表資格】

- ・研究発表の筆頭発表者、および会員企画の代表者は、2022年6月24日(金)の時点で当学会の正会員であり、参加申込フォームより参加手続きを終えていることが必要です。
- ・連名発表者は、臨時会員でも可能です。
- ・正会員のうち、年会費未納の方は、至急、過年度分の年会費の納付をお済ませください。
 - ※ 発表題目や内容がコミュニティ心理学にふさわしいか、大会準備委員会で審議することがあります。

【発表原稿について】

大会プログラム・発表論文集に掲載する各種原稿は、研究発表はA4用紙2ページ、会員自主企画はA4用紙1ページという従来のページ数を踏襲しますが、今後、J-Stageへの掲載などを視野に入れて、詳細な書式等について調整を行っております。

詳細は、2号通信において別途ご案内させていただきます。

3. 費用：

【諸経費】

大会参加費（早期の場合）

会員種別	会員	非会員
一般	3,000 円	6,000 円
大学院生	1,000 円	2,000 円
学部生	無料	

早期申し込み期間を過ぎての申し込みの場合、上記の価格に 500 円追加した参加費を申し受けます。
発表等登録費

研究発表 無料
会員企画 1 企画 2,000 円※1

※1 会員企画の登録費は企画者の負担となります。企画運営に、実行委員会によるサポートを要する場合には、別途、2,000 円の事務経費を申し受けます。

【支払期日】

大会参加に伴う費用は、参加費のみ **6月24日（金）までに**、お支払いをお済ませください。

なお、会員企画（自主シンポジウム、ワークショップ、ラウンドテーブル）につきましては、大会準備委員会から、**7月15日（金）までに選考結果をお知らせします。**

会員企画の申請者は、採択結果を受け取り次第、**7月30日（土）までに、登録費 2,000 円をお支払いください。**なお、払込みは、全て、Peatix にて行います。

期日までにお支払いがない場合、企画を取り消す場合があります。

【申込サイト】

以下のアドレスから参加の手続きをお願いいたします。

<https://jscp2022.peatix.com>

4. 連絡先：

【第 25 回大会に関する連絡先】	【学会(入会手続・住所変更等)に関する連絡先】
第 25 回大会事務局 〒703-8516 岡山市中区西川原 1 丁目 6-1 就実短期大学 幼児教育学科 荊木まき子研究室 Email: taikai@jscp1998.jp	学会会員管理事務局 〒162-0801 東京都新宿区山吹町 358-5 アカデミーセンター内 TEL 03-6824-9375 FAX 03-5227-8631 Email: jscp-post@bunken.co.jp 受付時間 9:00～12:00 / 13:00～17:00

5. 今後の予定：

4 月下旬～5 月中旬頃

6 月 10 日（金）

6 月 24 日（金）

7 月 1 日（金）

7 月 15 日（金）

7 月 30 日（土）

8 月中旬

2 号通信配信

学会入会申込締め切り

大会予約参加・研究発表の申し込みの締め切り

大会参加費払込締め切り（早期申し込みの場合）

研究発表の発表申込書・論文集原稿提出の締め切り

会員自主企画選考通知

会員自主企画費払込締め切り

学会 Web サイトにてプログラム公開

※ 大会の詳細については、随時、学会 web サイトと学会員向けの ML にてご案内します。

学会 Web サイト：<http://jscp1998.jp/>